

# NEWS RELEASE

平成16年11月17日  
国土交通省中部地方整備局

1. 件名 「徳山ダムに係る導水路検討会(第2回)」の開催結果について
2. 概要 本日、国土交通省中部地方整備局及び三県一市は「徳山ダムに係る導水路検討会(第2回)」を開催し、導水路ルートと比較検討等について意見交換を行いましたので、議事概要及び会議資料について情報提供いたします。
3. 資料 別添資料のとおり
4. 解禁 指定なし
5. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、  
愛知県政記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、  
大垣市政記者クラブ
6. 問合せ先 国土交通省中部地方整備局  
河川部河川調査官 小林 稔  
河川部広域水管理官 溝口 正信  
電話 052(953)8146

## 徳山ダムに係る導水路検討会(第2回)の議事概要

国土交通省中部地方整備局及び三県一市は「徳山ダムに係る導水路検討会(第2回)」を開催し、下記事項を確認した。

### 記

- (1) 共同・単独導水路及び上流案・下流案の比較検討資料を基に討議を行い、今後さらに検討を進めていくこととした。
- (2) 現在国土交通省はインターネットにより概要を公表しているが、寄せられた意見について取りまとめを行い、検討会に報告する。
- (3) 次回は導水規模について、これまでの検討内容を報告する。

日時：平成16年11月17日 13:30～15:30  
会場：愛知県産業貿易館 西館 8階会議室

## 徳山ダムに係る導水路検討会（第2回）

### 議 事 次 第

開会挨拶 中部地方整備局 河川部 小林河川調査官

#### 議事

- 1．共同・単独導水路及びルートと比較検討について
- 2．その他

以 上

# 「徳山ダムに係る導水路検討会（第2回）」

## 出席者名簿

日時：平成16年11月17日(水) 13:30～15:50

場所：愛知県産業貿易館西館 8階会議室

機 関 名	部 局 名	役 職	出 席 者	
			役 職	氏 名
岐阜県	基盤整備部建設管理局	水資源課長	水資源課長	岩田礼一
		河川課長	技術課長補佐	岩清水善隆
愛知県	企画振興部	土地水資源課長	土地水資源課長	舟橋 茂
	建設部	河川課長	河川課長	井山 聡
	企業庁	水道計画課長	水道計画課長	伊藤和義
三重県	地域振興部	資源活用室長	主幹	中村 節
	県土整備部	河川室長	主幹	井戸坂威
名古屋市	上下水道局技術本部計画部	水資源主幹	水資源主幹	坂 明憲
中部地方整備局	河川部	河川調査官	河川調査官	小林 稔



木曾川水系連絡導水路の事業形態比較表

事業形態		共同施設案			単独施設案					
		20m <sup>3</sup> /s			都市用水単独 4m <sup>3</sup> /s		治水単独 20m <sup>3</sup> /s			
ルート		上流案		下流案(直通)	下流案(直通)	下流案(長良川経由)	上流案		下流案(直通)	
		地質:悪	地質:良				地質:悪	地質:良		
概要	延長	約48km		約8km	約8km	約4km	約48km		約8km	
	起点・終点	起点(揖斐川)		西平ダム下流(63K)付近	名神揖斐川橋(35K)付近	名神揖斐川橋(35K)付近	名神揖斐川橋(35K)付近 [長良川経由:名神長良川橋(33K)付近着水]	西平ダム下流(63K)付近		名神揖斐川橋(35K)付近
		終点(木曾川)		木曾川犬山頭首工上流(62K)付近	名神木曾川橋(32K)付近	名神木曾川橋(32K)付近	[長良川経由:南濃大橋(28K)付近取水] 木曾川大堰(27K)付近	木曾川犬山頭首工上流(62K)付近		名神木曾川橋(32K)付近
建設事業費	概算事業費(単位:億円)		約900	約700	約750	約400	約300	約900	約700	約750
	治水・利水目的双方を要した場合の費用		同じ効用を持つ単独導水路を双方建設するよりも安価となる。		同じ効用を持つ単独導水路を双方建設するよりも安価となる。	治水単独導水路も建設する必要があり、双方では共同導水路よりも高価となる。	治水単独導水路も建設する必要があり、双方では共同導水路よりも高価となる。	利水単独導水路も建設する必要があり、双方では共同導水路よりも高価となる。		利水単独導水路も建設する必要があり、双方では共同導水路よりも高価となる。
	費用負担例示 (単位:億円)		治水	約710	約530	約570			約900	約700
			都市用水	約190	約170	約180	約400	約300		
ランニングコスト	概算ポンプ施設経費(億円/年)		0.0		約1.5	約0.5	約1.0	0.0		約1.0
効果	緊急水の補給 河川環境が改善される河川延長		流況改善区間が長い, (木曾川:約62km) (長良川:約58km)		流況改善区間が短い, (木曾川:約32km) (長良川:約33km)			流況改善区間が長い, (木曾川:約62km) (長良川:約58km)		流況改善区間が短い, (木曾川:約32km) (長良川:約33km)
	新規利水の補給 取水が可能となる地点		犬山、尾西、朝日		尾西、朝日	尾西、朝日	尾西、朝日			

[概算事業費]

概算事業費は50億円単位とした。

[費用負担]

共同施設案における治水と都市用水のアロケーション比率は、身替り建設費比と最大導水量比の平均比率とした。なお、身替り建設費は10億円単位とした。

## 徳山ダムの水を導水する「木曾川水系連絡導水路」

国土交通省中部地方整備局では、揖斐川上流に建設中の徳山ダムによって利用可能となる水を、木曾川及び長良川に導水し、都市用水の補給や河川環境の改善等を行うための「木曾川水系連絡導水路」の検討を進めています。

これまでに、概略のルート案、概算費用などの検討を行ってきましたが、今後は、ルートなどの具体的な内容、環境への影響、経済性などについて、より詳細な検討を進めていくこととしています。

ここでは、事業の目的、ルート案の特徴などについて紹介させていただきます。今後の検討の参考にさせていただきますので、次の資料をご覧のうえ、ご意見などがありましたら、ご自由にお寄せ下さい。

### 資料

[木曾川水系連絡導水路について](#)

### ご意見

- ご意見はご自由にお寄せ下さい。  
なお、ご意見と合わせて次についてもご記入下さい。
- ・住所（市町村名までで結構です）
  - ・氏名
  - ・性別、年齢

電子メールを送信 [kisojyo@cbr.mlit.go.jp](mailto:kisojyo@cbr.mlit.go.jp)

## 徳山ダムの水を導水する「木曽川水系連絡導水路」

### 事業の目的

「木曽川水系連絡導水路」には、次の2つの目的があります。

- ・ 異常渇水時の緊急水補給による河川環境の改善等
- ・ 新規利水の補給

#### 異常渇水時の緊急水補給による河川環境の改善等

木曽川水系の異常渇水時に緊急水を補給するために、徳山ダムに新たに「渇水対策容量」が確保されます。

「木曽川水系連絡導水路」は、この緊急水を、揖斐川だけでなく、木曽川・長良川に対して導水することにより、異常渇水時における河川環境の改善等を行うことを目的としています。

#### 新規利水の補給

岐阜県、愛知県、名古屋市に都市用水を供給するために、徳山ダムに新たに「新規利水容量」が確保されます。

「木曽川水系連絡導水路」は、愛知県及び名古屋市の都市用水を、木曽川で取水できるように導水することを目的としています。



渇水により干上がった河川  
平成12年9月 大野町・神戸町



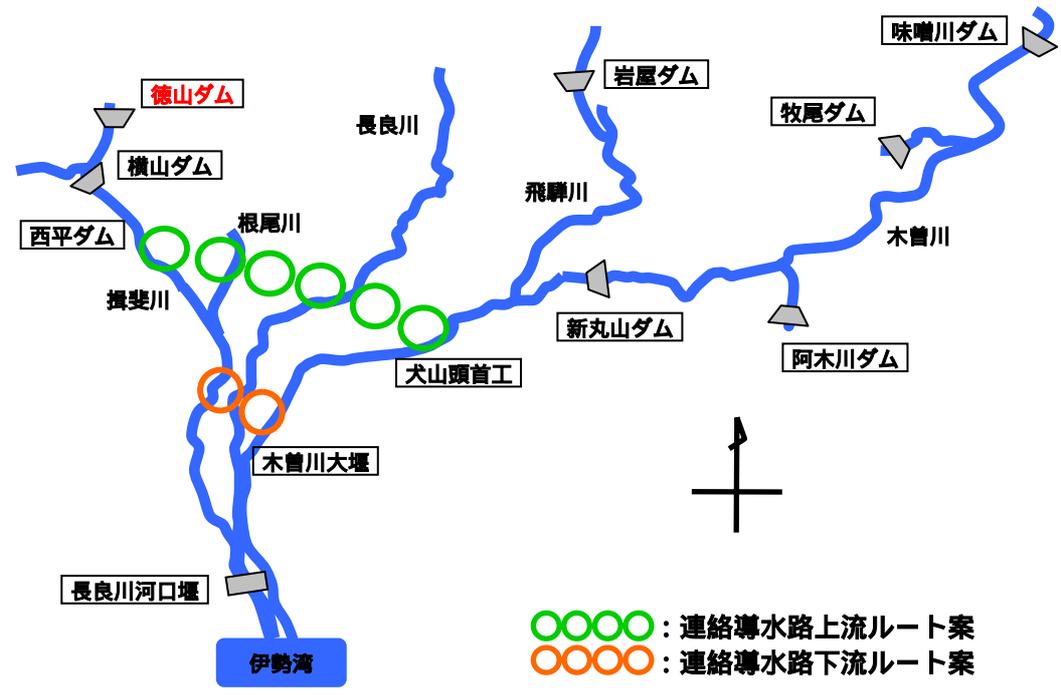
給水車から給水を受ける住民  
平成6年7月 常滑市

# 徳山ダムの水を導水する「木曾川水系連絡導水路」

## 事業の内容

ルート、導水路断面などは、今後、関係県市などとの調整や地質調査などを経て決定することとしています。  
現時点では、下記の2つのルート案(上流ルート案、下流ルート案)が考えられます。

### 位置図



上流ルート案の特徴	
緊急水の補給	緊急水の補給導水路を木曾川の上流部に接続する案であり、緊急水により河川環境が改善される河川延長が長い。
新規利水補給	犬山頭首工付近から下流で新規利水の取水が可能となる。
経済性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高低差を利用した自然流下が可能であり、ポンプ施設や運転経費が不要</li> <li>・一般的な山岳トンネルの費用をもとに試算すれば、建設費は約900億円(地質によって異なる)</li> </ul>

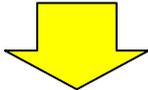
下流ルート案の特徴	
緊急水の補給	導水路延長を短くするため導水路を木曾川の下流部に接続する案であり、緊急水により河川環境等が改善される河川延長が短くなる。
新規利水補給	木曾川大堰付近でのみ新規利水の取水が可能。
経済性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高低差を利用した自然流下が不可能なため、導水のためのポンプ施設が必要</li> <li>・一般的なシールドトンネルの費用をもとに試算(地質によって異なる)すれば、建設費約750億円と運転経費(毎年約1.5億円)が必要となる。</li> </ul>

# 徳山ダムの水を導水する「木曽川水系連絡導水路」

**目的**  
(異常渇水時の緊急水補給による河川環境の改善等)

木曽川水系では、異常渇水時に、河川の流水が減少して、河川環境に深刻な影響が生じています。  
「木曽川水系連絡導水路」が建設されると、徳山ダムに貯留した「異常渇水時における緊急水」を、揖斐川だけでなく、木曽川・長良川に導水することが可能となります。

## 豊川における河川環境の改善の例



## 緊急水の補給による効果の範囲 (例: 上流ルート案)



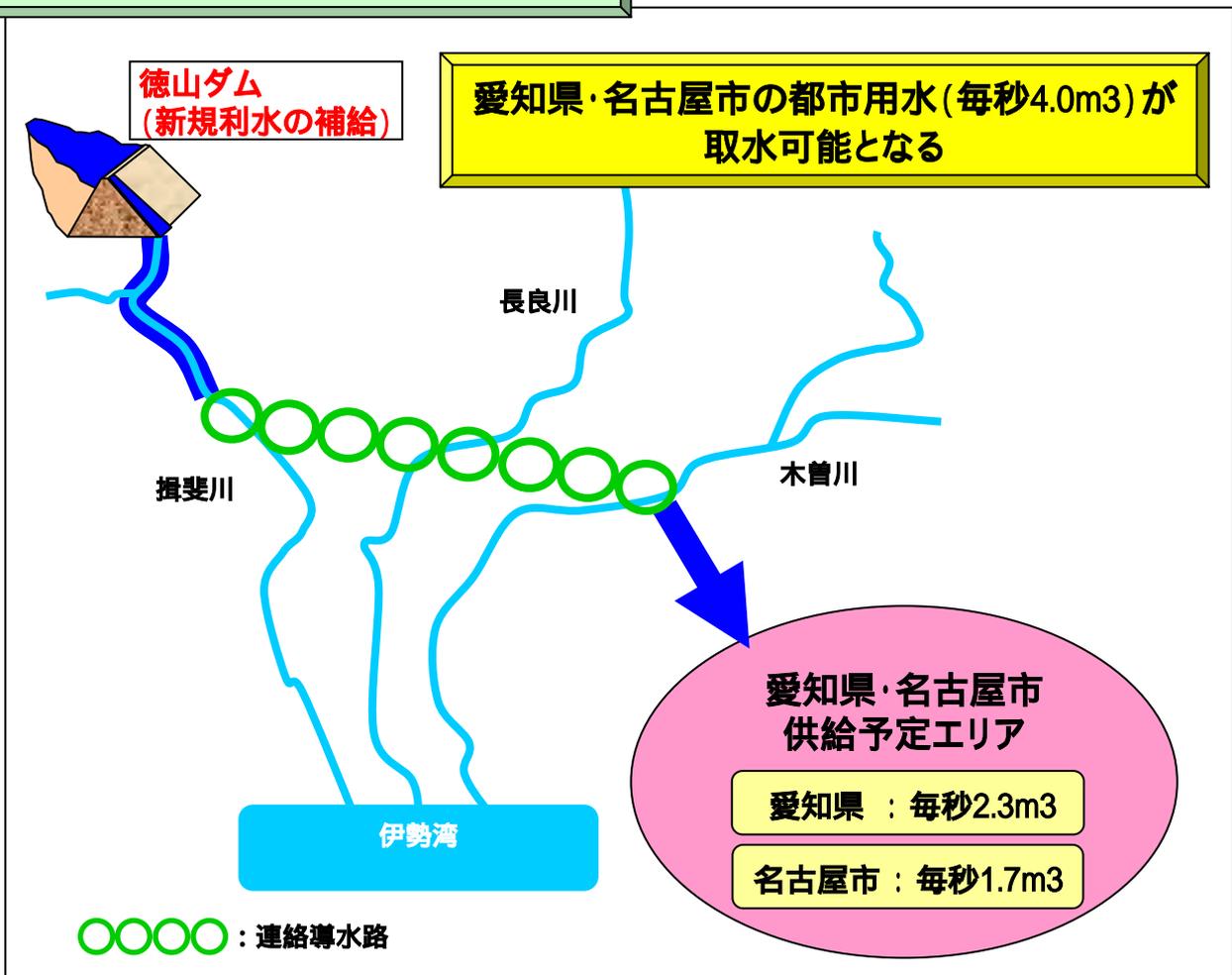
- : 河川環境の改善が図られる区間
- : 連絡導水路上流ルート案

## 徳山ダムの水を導水する「木曽川水系連絡導水路」

### 目的（新規利水の補給）

「木曽川水系連絡導水路」が建設されると、徳山ダムで開発された愛知県・名古屋市の都市用水が木曽川で取水できるようになります。

### 連絡導水路による効果



### 【都市用水毎秒4.0m<sup>3</sup>の効果】

木曽川水系では毎年のように取水制限を余儀なくされていますが、将来を想定した愛知県(名古屋市含む)の需要に対し、既存施設の活用に併せ、導水路による補給により、安定的な水の利用を可能にすることができます。